

船橋市リハビリセンター  
平成26年度事業報告書

指定管理者：医療法人社団輝生会

## 目次

I	管理の実施状況	1
1	センター基盤の整備	1
	(1) 組織編成	1
	(2) 情報システムの構築	2
	(3) 職員の資質向上	2
2	サービス機能	2
	(1) 職員配置	2
	(2) 提供したサービス	3
3	地域連携・ネットワーキング	4
	(1) 回復期病棟を持つ病院との連携	4
	(2) 医師会との連携	4
	(3) 地域の診療所や介護サービス事業者との連携	4
II	利用状況	6
1	外来患者	6
	(1) 外来患者数	6
	(2) 月別外来患者（延べ人数）内訳	6
	(3) 年齢別・男女別外来患者内訳	8
	(4) 疾患別外来患者内訳	8
	(5) 地域別外来患者内訳	9
2	通所リハビリテーション利用者	10
	(1) 通所リハビリテーション利用者数	10
	(2) 月別通所リハビリテーション利用者（延べ人数）内訳	10
	(3) 年齢別・男女別通所リハビリテーション利用者内訳	10
	(4) 疾患別通所リハビリテーション利用者内訳	11
	(5) 介護度別分類	12
	(6) 地域別通所リハビリテーション利用者内訳	12
3	訪問リハビリテーション利用者	13
	(1) 訪問リハビリテーション利用者数	13
	(2) 月別訪問リハビリテーション利用者（延べ人数）内訳	13
	(3) 年齢別・男女別訪問リハビリテーション利用者内訳	14
	(4) 疾患別訪問リハビリテーション利用者内訳	14
	(5) 介護度別分類	15
	(6) 地域別訪問リハビリテーション利用者内訳	15
4	地域リハビリテーション拠点事業	15
5	リハビリ事業	18

(1) パワーリハビリ教室	18
(2) パワーリハフォロー	18
(3) プールリハビリ	19
III 収支状況	20
IV 中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告	22
(1) バーセルインデックス (BI)	22
(2) ライフスペースアセスメント (LSA)	23
(3) 健康関連QOL (SF8)	24
(4) 家族の介護負担 (Zarit介護負担尺度)	25
(5) 外来患者・通所リハビリ・訪問リハビリ患者または利用者満足度	26
(6) リハビリ事業満足度について	28
(7) 財務内容の改善に関する事項	30
(8) 地域リハビリテーション拠点事業	31

(資料)

資料1 組織図	資料7 訪問リハビリ満足度調査結果
資料2 センター内外の研修・学会	資料8 リハビリ事業満足度調査結果
資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績	
資料4 評価結果	別紙1 各リハビリテーション効果調査項目
資料5 外来患者満足度調査結果	
資料6 通所リハビリ患者満足度調査結果	

## I 管理の実施状況 管理の実施状況

### 1 センター基盤の整備

#### (1) 組織編成

リハビリセンターの組織編成は、センター長を補佐する役割として、副センター長を配置した。以下、クリニック部門、サポート部門、船橋市委託事業部門の3つのセクションを配置し、それぞれの部門においてセンターの基本となるクリニック事業（外来リハ・通所リハ・訪問リハ）、リハビリ事業（パワーリハビリ教室・フォローアップ・プールリハビリ）、地域リハビリテーション拠点事業、職員の資質向上、事務の業務を担当し、医療安全、個人情報保護等センターを運営する上での個別の重要事項については、専門の委員会が担当する体制とした。各事業と主な委員会の役割は次のとおり。（資料1 組織図）

#### A クリニック事業

クリニックは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士が所属し、外来・通所・訪問リハビリテーションの患者の診療及びリハビリテーションを担当した。

#### B リハビリ事業（パワーリハビリ教室・フォローアップ・プールリハビリ）

リハビリ事業は、理学療法士、健康運動指導士を配置し、利用者の筋力マシンを使用するトレーニングの相談やアドバイス、プールリハビリの水中歩行訓練等を担当した。

#### C 地域リハビリテーション拠点事業

地域リハビリテーション拠点事業は、ソーシャルワーカーを配置し、リハビリについての啓発活動、リハビリ関係者の育成、医療及び介護の連携強化、リハビリの実態把握、リハビリの総合相談を担当した。

#### D サポート部

サポート部は、事務職が所属し、医療事務、総務・人事、施設管理、患者サービスの向上及び、職員の働きやすい環境作りを担当した。

#### F 主な委員会の担当事項

##### ① 医療安全委員会及び感染対策委員会

医療安全委員会は、センター内における事故を防止し、安全かつ適切に業務遂行できる体制を確立した。感染対策委員会は、センター内における細菌、微生物、ウイルス等の感染防止対策を推進し、院内衛生管理の万全を期した。両委員会において、それぞれマニュアルを作成し、マニュアルに沿った業務遂行の徹底を図った。

##### ② 個人情報保護委員会及び診療情報開示検討委員会

個人情報保護委員会は、患者等の個人情報の取り扱い・保護・管理・委託・

苦情・相談等を審議した。診療情報開示検討委員会は、診療情報の提供・開示の具体的方策及び、実施要綱などの運営上の問題点等を協議するとともに、センター長からの諮問により開示申請者の適否・開示情報の範囲、開示の可否について審査する体制を整えた。

③ サービス向上委員会

患者のアメニティーの向上・苦情対応は、サービス向上委員会が担当した。苦情対応として、御意見箱を設置し、患者等の苦情に対応する体制を整えた。生花の配置、患者満足度調査等を行った。また、センター内の情報公開として、センター運営の透明性を確保するため個人情報以外は原則公開するものとし、クリニック、並びにリハビリ事業の患者家族及び来所者に有用な情報を法人情報誌及びホームページにて提供した。

(2) 情報システムの構築

リハビリセンタークリニックで行う診療はチームで行なうが、そのチーム内の血液となるのが患者情報である。このため、患者の状況・治療の目標等の患者情報の共有化を支援する電子カルテシステムを導入している。この電子カルテは、患者情報が一元化され、チームスタッフが患者とその家族との面談の際に必要な情報提供にも寄与した。

(3) 職員の資質向上

効果的なリハビリテーションの提供には、患者本人から機能回復の意欲を引き出し高いモチベーション（動機付け）をもって主体的にリハビリテーションを行うことができる環境づくりが重要である。その中で、職員の対応は最も重要となる。

このことから、職員には当法人の基本理念、診療方針、患者の基本的な権利等を理解し行動できるよう研修を行った。また、当院が提供するリハビリテーションの理解を深めるため、病院の概要、診療システム、各部門の業務体制についても研修を行った。

職員には全体会議や朝のミーティングを通じて、社会人や大人としての礼儀作法・身だしなみ、言葉遣い等の接遇に関する研修を行うなど意識付けを行った。

**(資料2 センター内外の研修・学会)**

2 サービス機能

(1) 職員配置

区分	平成26年度
院長兼医師	1
副センター長（兼務）	1
チームマネジャー（兼務）	3
看護師	2
ケアワーカー	1
理学療法士	7 (2)

作業療法士	3
言語聴覚士	1
ソーシャルワーカー	1
健康運動指導士	2 (2)
サポート部(事務)	3
運転手	3 (3)
総計	24

( ) 内非常勤職員数

## (2) 提供したサービス

### ア) 外来リハビリテーション

通院による外来リハビリテーションを提供した。混雑した場合には個別リハビリテーションが十分に提供できなくなることからサービスの提供は予約制とした。また、リハビリテーション科の医師の診察等には一定以上の時間を要することから初回受付も予約制とした。

### イ) 通所リハビリテーション

利用者が可能な限り居宅においてその能力に応じ、生活機能の維持・向上を積極的に図り、要支援・要介護状態の予防及びその重症化の予防、軽減ができるよう介護（予防）通所リハビリテーションサービスを提供した。対象は要支援1・2もしくは、要介護1から5の方とし、個別リハ（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）の実施に加えて自主トレーニングを行う時間を設け、1回およそ90分で行った。

### ウ) 訪問リハビリテーション

利用者の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活活動の維持、回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるように訪問リハビリテーションを通じた支援を行った。サービス提供に当たっては、関係自治体、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図った。

### エ) 訪問看護ステーション

（平成27年4月より開設したため、平成26年度は開設準備）

平成27年4月より利用者の心身の特性を踏まえて、個々に応じたケアを実施することで心身の活力を維持していただき、より安全な在宅療養生活を送れるよう支援する訪問看護ステーションを開設する。開設準備にあたり、平成26年11月より訪問看護ステーション開設準備委員会を設置した。事業の実施に当たっては、関係自治体、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。開設準備にあたり、近隣の病院・診療所・居宅介護支援事業所に対し、訪問看護ステーションの案内を実施した。また、サービスの特性から地域におけるニーズとして、24時間・緊急時への対応が求められていることから、利用者が24時間安心して生活を送れるように24時間の緊急時の対応を行うこととした。

オ) 地域リハビリテーション拠点事業

地域リハビリテーションの普及を図る目的から、研究大会を年2回、介護職員向け勉強会を年11回、地区勉強会（年3回）、摂食栄養サポート勉強会（年2回）、市民向け講演会（年2回）、市民向け研修会（年2回）を実施したほか、センターパンフレット・地域リハビリ推進用リーフレット・センター発行物の作成及び配布、ホームページ開設運営、生活期リハに関する調査研究報告（2回）を行った。

**（資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績）**

カ) リハビリ事業

① パワーリハビリ教室

市内の身体機能の低下した高齢者等に対し、要介護状態等の予防や軽減、また、自立した生活をできるだけ実現すること等を主な目的として実施した。

② パワーリハビリフォローアップ

パワーリハビリ教室終了後の健康維持・体力作り、仲間との交流などを主な目的として実施した。

③ プールリハビリ

水がもつ特性を活かし、下半身への負担を軽減しながら高齢者の体力及び筋力の維持を目的として実施した。

3 地域連携・ネットワーキング

(1) 回復期病棟を持つ病院との連携

回復期病棟を持つ近隣の医療機関に出向き、必要な市民が円滑にリハビリテーションサービスを受けられるよう情報交換を行った。

(2) 医師会との連携

クリニックやリハビリ事業を利用する患者・利用者を通じてかかりつけ医との連携を図った。また、近隣医療機関に出向き、情報交換を行った。医師会が主催する認知症サポート医に関する勉強会に参加し、連携を深めた。

(3) 地域の診療所や介護サービス事業者との連携

① 船橋市地域リハ研究会と連携し、研究会の運営に貢献すると共に、地域リハビリテーション拠点事業の実施に反映させた。

② 「船橋在宅医療ひまわりネットワーク役員会」に出席し、関係団体として協力した。また、S Wが「顔の見える連携作り委員会」に参加し、会の運営に協力した。

③ 介護報酬改定に伴い、船橋市支援専門協議会の介護支援専門員に対して改定についての説明会を開催した。

④ 船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会に参加し、会員である市内外のS Wと情報交換を行った。

- ⑤ 「船橋市通所リハビリテーション連絡会」「船橋市訪問リハビリテーション連絡会」「船橋市デイサービス勉強会」の立ち上げに協力した。

リハビリテーション総合相談件数

(重複あり)

	センター事業に関すること			センター以外に関することの相談
	クリニック事業に関すること	リハビリ事業に関すること	その他	
平成26年4月	2人	10人	0人	0人
平成26年5月	10人	39人	0人	0人
平成26年6月	17人	7人	0人	0人
平成26年7月	32人	8人	0人	0人
平成26年8月	22人	31人	0人	0人
平成26年9月	21人	6人	0人	1人
平成26年10月	24人	8人	0人	0人
平成26年11月	12人	31人	0人	1人
平成26年12月	23人	3人	0人	0人
平成27年1月	9人	2人	0人	1人
平成27年2月	21人	8人	0人	0人
平成27年3月	13人	2人	0人	1人
合計	206人	155人	0人	4人

相談内容の主なものは、リハビリセンターにおけるリハビリ内容についての問い合わせである。センター以外に関する相談の内容として、他に他医療機関通院中であるが、このままでよいのかという相談（来院されたため、面接にて医療機関における医師とセラピストの関係について説明した）、他院でリハビリが終了になるが、その後のフォローをどこで受けられるかという相談（障害福祉サービスについて紹介）、末期のがんと言われたが、どのようにリハビリを受けることができるかという本人からの相談（訪問リハ実施機関と利用までの手順を紹介した）などがある。



## II 利用状況

船橋市リハビリセンターにおける平成26年度の利用実績は以下の通りである。

### 1 外来患者（一般診療・リハビリテーション）※平成26年7月から事業実施

#### (1) 外来リハビリテーション患者数 (単位：人)

	実患者数	延べ患者数
計	135	1,815

#### (2) 月別外来患者（延べ人数）内訳

診療日数	145.5
------	-------

#### ①外来リハビリテーション実績 (単位：人)

区分	新規（初診）	再診	計
平成26年7月	11	46	57
平成26年8月	6	76	82
平成26年9月	4	102	106
平成26年10月	6	155	161
平成26年11月	4	143	147
平成26年12月	4	197	201
平成27年1月	4	196	200
平成27年2月	3	194	197
平成27年3月	3	213	216
合計	45	1,322	1,367
1日平均患者	0.3	9.1	9.4

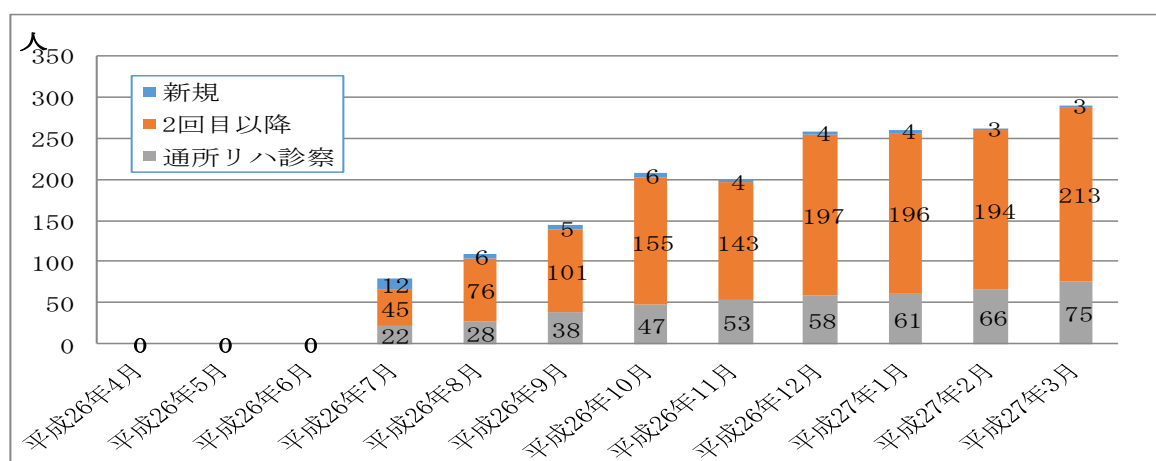
#### ②一般診療実績（通所リハビリテーション利用者への診察） (単位：人)

区分	通所リハ診察
平成26年7月	22
平成26年8月	28
平成26年9月	38
平成26年10月	47
平成26年11月	53
平成26年12月	58
平成27年1月	61
平成27年2月	66
平成27年3月	75
合計	448
1日平均患者	3.1

③外来診療実績（合計）

（単位：人）

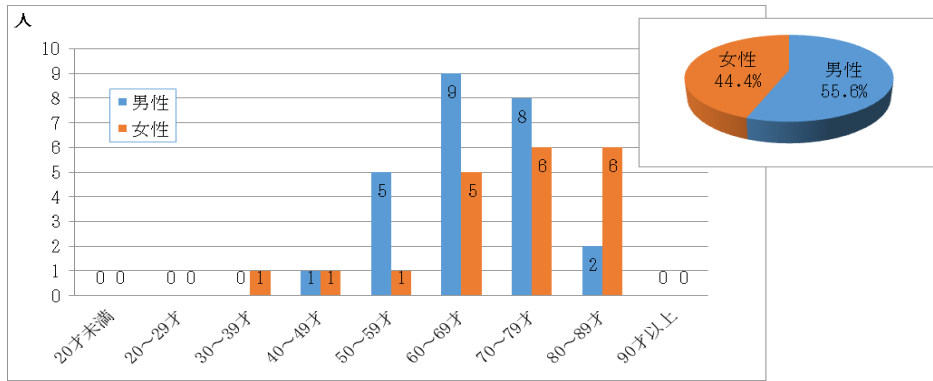
区分	新規（初診）	再診	通所リハ診察	計
平成 26 年 7 月	11	46	22	79
平成 26 年 8 月	6	76	28	110
平成 26 年 9 月	4	102	38	144
平成 26 年 10 月	6	155	47	208
平成 26 年 11 月	4	143	53	200
平成 26 年 12 月	4	197	58	259
平成 27 年 1 月	4	196	61	261
平成 27 年 2 月	3	194	66	263
平成 27 年 3 月	3	213	75	291
合計	45	1,322	448	1,815
1 日平均患者	0.3	9.1	3.1	12.5



(3) 外来リハビリテーション年齢別・男女別外来患者内訳

（単位：人）

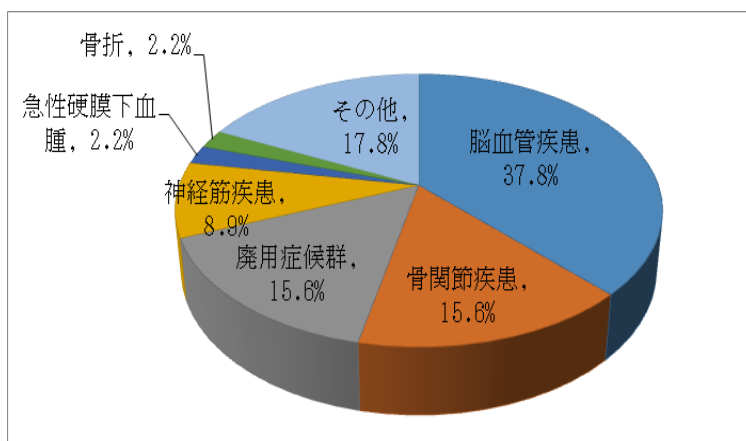
年齢	男性	女性	合計	構成割合
20 才未満	0	0	0	0.0%
20～29 才	0	0	0	0.0%
30～39 才	0	1	1	2.2%
40～49 才	1	1	2	4.4%
50～59 才	5	1	6	13.3%
60～69 才	9	5	14	31.1%
70～79 才	8	6	14	31.1%
80～89 才	2	6	8	17.8%
90 才以上	0	0	0	0.0%
合計	25	20	45	100.0%
平均年齢	67.2	70.8	68.8	



(4) 外来リハビリテーション疾患別外来患者内訳

疾患名	患者数	構成割合%
脳出血	4	8.9%
脳梗塞	11	24.4%
くも膜下出血	2	4.4%
頭部外傷	1	2.2%
神経筋疾患	4	8.9%
骨折	1	2.2%
骨関節疾患	7	15.6%
廃用症候群	7	15.6%
その他	8	17.8%
合計	45	100.0%

脳血管疾患：37.8%



(5) 外来リハビリテーション地域別外来患者内訳

地域	患者数	構成割合%
船橋市飯山満町	7	15.6%
船橋市前原	8	17.8%
船橋市二宮	6	13.3%
船橋市薬円台	1	2.2%
船橋市宮本	1	2.2%
船橋市湊町	1	2.2%
船橋市田喜野井	2	4.4%
船橋市七林町	1	2.2%
船橋市咲が丘	1	2.2%
船橋市新高根	2	4.4%
船橋市中野木	1	2.2%
船橋市三山	4	8.9%
船橋市芝山	3	6.7%
船橋市高野台	1	2.2%
船橋市習志野台	2	4.4%
船橋市印内	1	2.2%
船橋市大穴南	1	2.2%
その他県内	2	4.4%
合計	45	100.0%

## 2 通所リハビリテーション患者

(注：外来の一般診療患者は通所リハへ移行することから実績は通所リハに統一する)

### (1) 通所リハビリテーション利用者数 (単位：人)

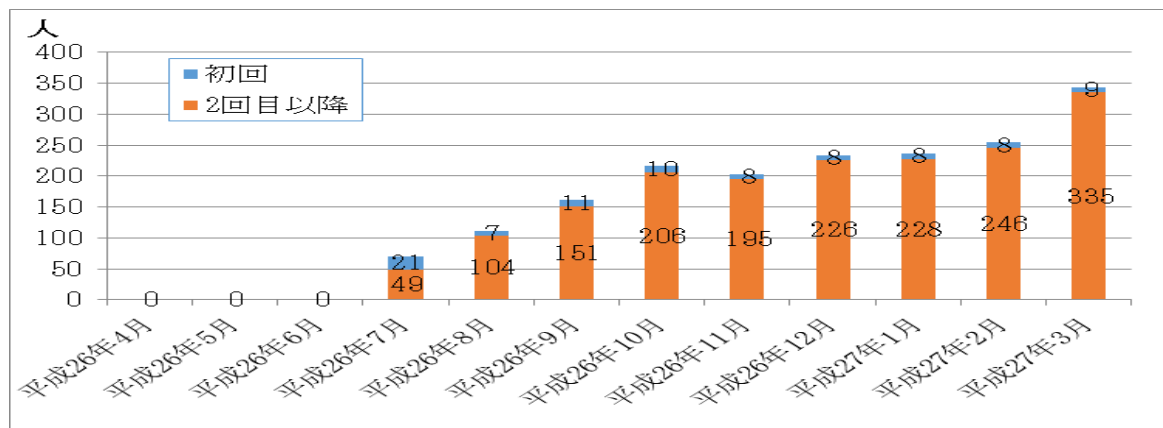
	実患者数	延べ患者数
計	90	1,830

### (2) 月別通所リハビリテーション実績 (延べ人数) 内訳

診療日数	145.5
------	-------

(単位：人)

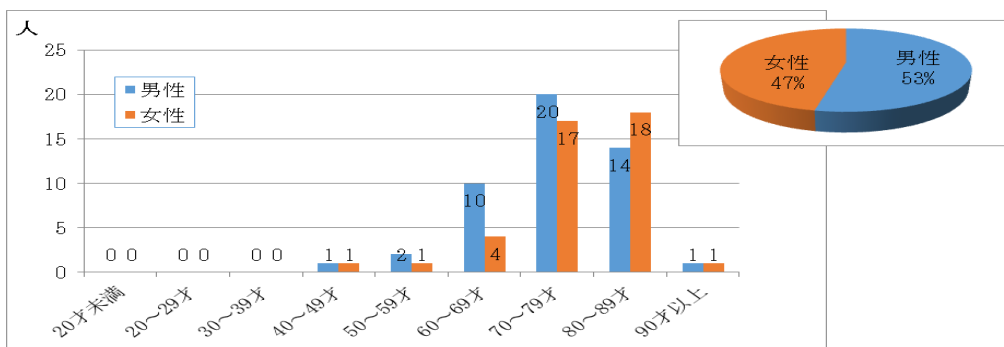
区分	初回	2回目以降	計
平成26年7月	21	49	70
平成26年8月	7	104	111
平成26年9月	11	151	162
平成26年10月	10	206	216
平成26年11月	8	195	203
平成26年12月	8	226	234
平成27年1月	8	228	236
平成27年2月	8	246	254
平成27年3月	9	335	344
合計	90	1,740	1,830
1日平均患者	0.6	11.9	12.5



### (3) 年齢別・男女別通所リハビリテーション利用者内訳 (単位：人)

年齢	男性	女性	合計	構成割合
20才未満	0	0	0	0.0%
20～29才	0	0	0	0.0%
30～39才	0	0	0	0.0%
40～49才	1	1	2	2.2%
50～59才	2	1	3	3.3%

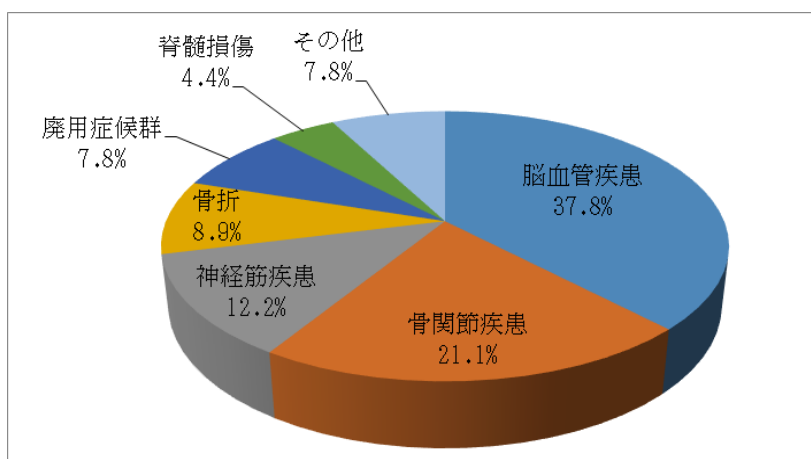
60～69 才	10	4	14	15.6%
70～79 才	20	17	37	41.1%
80～89 才	14	18	32	35.6%
90 才以上	1	1	2	2.2%
合計	48	42	90	100.0%
平均年齢	74.7	77.8	76.2	



(4) 疾患別通所リハビリテーション利用者内訳

疾患名	患者数	構成割合%
脳出血	8	8.9%
脳梗塞	23	25.6%
くも膜下出血	3	3.3%
頭部外傷	0	0.0%
脊髄損傷	4	4.4%
神経筋疾患	11	12.2%
脳腫瘍	0	0.0%
骨関節疾患	19	21.1%
廃用症候群	7	7.8%
骨折	8	8.9%
その他	7	7.8%
合計	90	

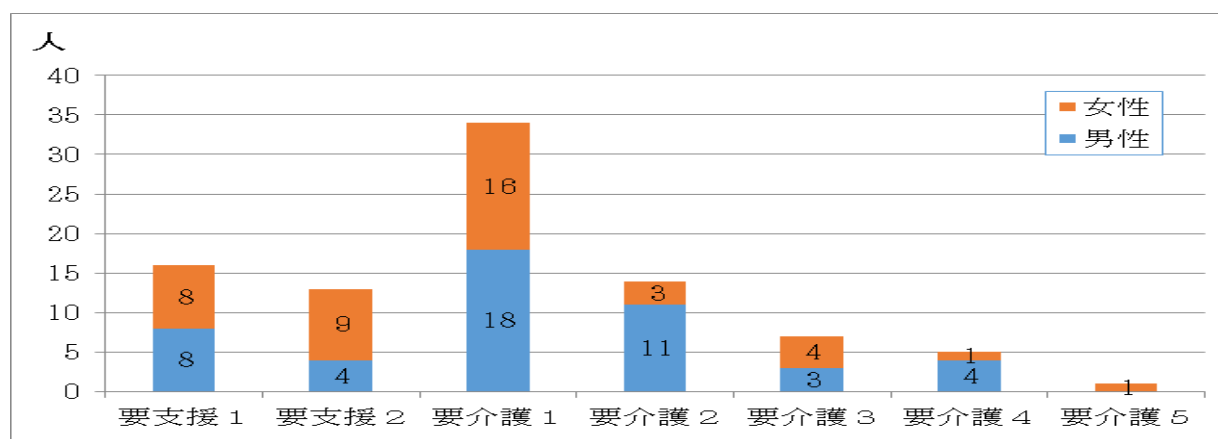
脳血管疾患：37.8%



## (5) 介護度別分類

(単位：人)

	男性	女性	合計	構成割合
要支援 1	8	8	16	17.8%
要支援 2	4	9	13	14.4%
要介護 1	18	16	34	37.8%
要介護 2	11	3	14	15.6%
要介護 3	3	4	7	7.8%
要介護 4	4	1	5	5.6%
要介護 5	0	1	1	1.1%
合計	48	42	90	100.0%



## (6) 地域別訪問リハビリテーション利用者内訳

地域	患者数	構成割合%
習志野市秋津	1	1.1%
船橋市夏見	1	1.1%
船橋市丸山	2	2.2%
船橋市高根台	3	3.3%
船橋市三山	5	5.6%
船橋市七林町	1	1.1%
船橋市芝山	9	10.0%
船橋市若松	1	1.1%
船橋市習志野	1	1.1%
船橋市習志野台	4	4.4%
船橋市駿河台	1	1.1%
船橋市西習志野	2	2.2%
船橋市前原西	16	17.8%
船橋市大穴南	1	1.1%
船橋市滝台	1	1.1%
船橋市中野木	1	1.1%
船橋市坪井東	1	1.1%

船橋市田喜野井	4	4.4%
船橋市二宮	7	7.8%
船橋市飯山満町	25	27.8%
船橋市浜町	1	1.1%
船橋市薬円台	2	2.2%
合計	90	100.0%

### 3 訪問リハビリテーション利用者

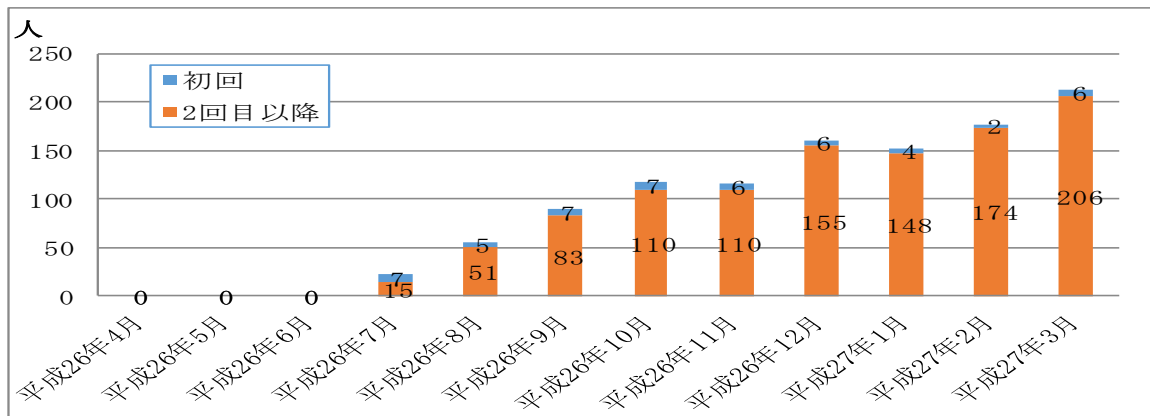
#### (1) 訪問リハビリテーション利用者数 (単位：人)

	実患者数	延べ患者数
計	50	1,102

#### (2) 月別訪問リハビリテーション実績 (延べ人数) 内訳

診療日数	183
------	-----

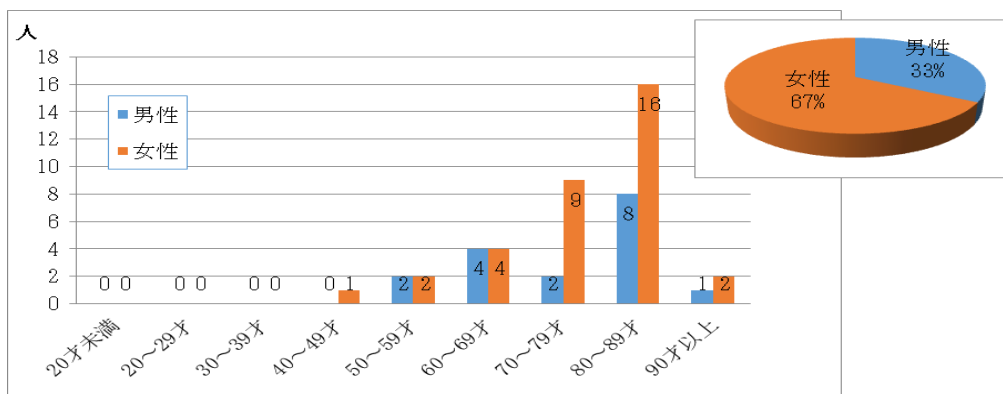
区分	初回	2回目以降	計
平成26年4月	0	0	0
平成26年5月	0	0	0
平成26年6月	0	0	0
平成26年7月	7	15	22
平成26年8月	5	51	56
平成26年9月	7	83	90
平成26年10月	7	110	117
平成26年11月	6	110	116
平成26年12月	6	155	161
平成27年1月	4	148	152
平成27年2月	2	174	176
平成27年3月	6	206	212
合計	50	1,052	1,102
1日平均患者	0.3	5.7	6.0





(3) 年齢別・男女別訪問リハビリテーション利用者内訳 (単位：人)

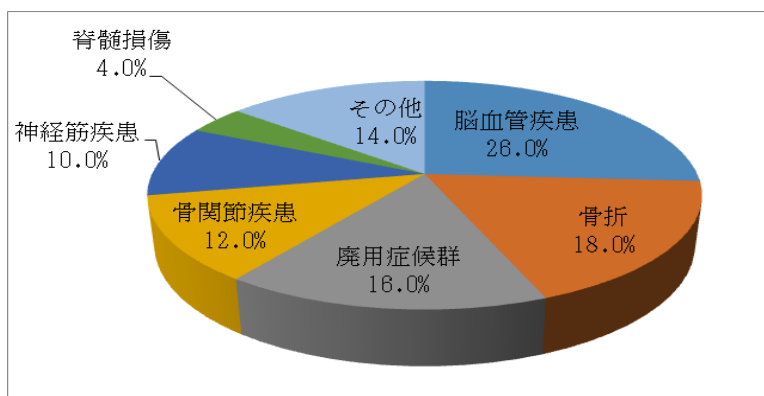
年齢	男性	女性	合計	構成割合
20才未満	0	0	0	0.0%
20～29才	0	0	0	0.0%
30～39才	0	0	0	0.0%
40～49才	0	0	0	0.0%
50～59才	2	2	4	8.0%
60～69才	4	4	8	16.0%
70～79才	2	9	11	22.0%
80～89才	8	16	24	48.0%
90才以上	1	2	3	6.0%
合計	17	33	50	100.0%
平均年齢	75.6	78.6	77.6	



(4) 疾患別訪問リハビリテーション利用者内訳

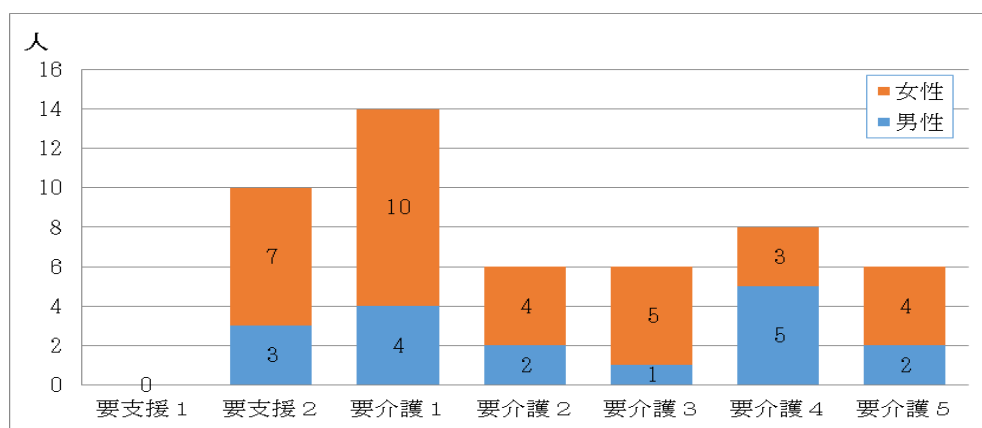
疾患名	患者数	構成割合%
脳出血	5	10.0%
脳梗塞	7	14.0%
くも膜下出血	1	2.0%
頭部外傷	0	0.0%
脊髄損傷	2	4.0%
神経筋疾患	5	10.0%
脳腫瘍	0	0.0%
骨関節疾患	6	12.0%
廃用症候群	8	16.0%
骨折	9	18.0%
その他	7	14.0%
合計	50	100.0%

脑血管疾患：26.0%



(5) 介護度別分類

	男性	女性	合計	構成割合
要支援 1	0	0	0	0.0%
要支援 2	3	7	10	20.0%
要介護 1	4	10	14	28.0%
要介護 2	2	4	6	12.0%
要介護 3	1	5	6	12.0%
要介護 4	5	3	8	16.0%
要介護 5	2	4	6	12.0%
合計	17	33	50	100.0%



(6) 地域別訪問リハビリテーション利用者内訳

地域	患者数	構成割合%
船橋市宮本	1	2.0%
船橋市高根台	2	4.0%
船橋市三山	6	12.0%
船橋市芝山	9	19.0%
船橋市若松	1	2.0%

船橋市習志野	1	2.0%
船橋市習志野台	6	12.0%
船橋市駿河台	1	2.0%
船橋市新高根	3	6.0%
船橋市前原西	7	14.0%
船橋市前原東	2	4.0%
船橋市中野木	1	2.0%
船橋市田喜野井	3	6.0%
船橋市東船橋	2	4.0%
船橋市飯山満町	3	6.0%
船橋市浜町	1	2.0%
船橋市薬円台	1	2.0%
合計	50	100.0%

#### 4 地域リハビリテーション拠点事業

平成26年度の地域リハビリテーション拠点事業実績は別添資料の通り実施した。開催した内容としては、リハビリ関係者向け講演会 計2回、リハビリ関係者向け研修会 計16回、市民向け講演会 計2回、市民向け研修会 計2回を実施し、開催回数は合計22回実施した。

(資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績)

#### 5 リハビリ事業

##### (1) パワーリハビリ教室

##### ① パワーリハビリ教室 利用者数

	延べ利用者数
計	1,268

##### ② 月別パワーリハビリ教室（延べ人数）内訳

実日数	72
-----	----

(単位：人)

区分	利用者数	登録者数
平成26年4月	0	0
平成26年5月	0	0
平成26年6月	122	20
平成26年7月	162	20
平成26年8月	73	19
平成26年9月	131	19
平成26年10月	132	19
平成26年11月	81	18

平成 26 年 12 月	150	18
平成 27 年 1 月	152	22
平成 27 年 2 月	138	21
平成 27 年 3 月	127	15
合計	1,268	
1 日平均患者	17.6	

(2) パワーリハフォローアップ

① パワーリハフォローアップ 利用者数

	延べ利用者数
計	5,642

② 月別パワーリハフォロー（延べ人数）内訳

実日数	182
-----	-----

区分	利用者数	登録者数
平成 26 年 4 月	475	102
平成 26 年 5 月	423	101
平成 26 年 6 月	442	94
平成 26 年 7 月	426	94
平成 26 年 8 月	377	89
平成 26 年 9 月	464	107
平成 26 年 10 月	479	107
平成 26 年 11 月	408	108
平成 26 年 12 月	480	116
平成 27 年 1 月	472	114
平成 27 年 2 月	503	115
平成 27 年 3 月	693	139
合計	5,642	
1 日平均患者	31.0	

(3) プールリハビリ

① プールリハビリ 利用者数

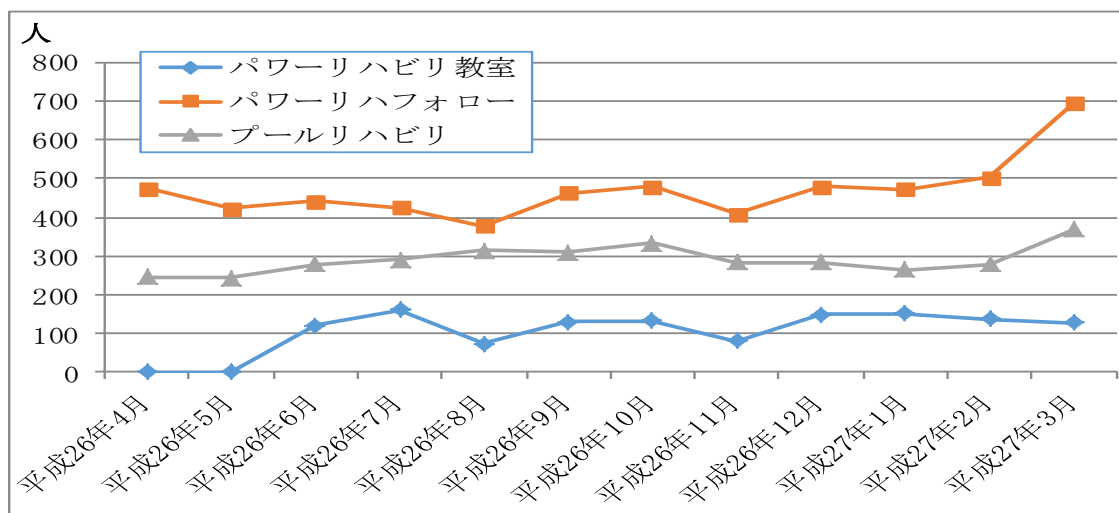
	延べ利用者数
計	3,500

② 月別プールリハビリ（延べ人数）内訳

実日数	182
-----	-----

区分	利用者数	登録者数
----	------	------

平成 26 年 4 月	246	63
平成 26 年 5 月	244	66
平成 26 年 6 月	278	66
平成 26 年 7 月	291	66
平成 26 年 8 月	315	77
平成 26 年 9 月	310	80
平成 26 年 10 月	334	77
平成 26 年 11 月	284	75
平成 26 年 12 月	284	76
平成 27 年 1 月	266	74
平成 27 年 2 月	279	74
平成 27 年 3 月	369	86
合計	3,500	
1 日平均患者	19.2	



### Ⅲ 収支状況

平成26年度における船橋市リハビリセンターの収支は以下の通りである。平成26年度の指定管理料計画は137,065千円に対し、実績は136,663千円であり、概ね計画通りに指定管理事業を実施できている状況である。

単位：千円

		診療所	訪問看護	リハビリ 事業	地域リハ 拠点事業	施設管理	平成26年度 合計
医業 収益	利用料	0	0	2,603	0	0	2,603
	指定管理委託料	0	0	26,131	10,932	19,469	56,532
	医療・外来収益	9,163	0	0	0	0	9,163
	介護・外来収益	19,950	0	0	0	0	19,950
	受託検査・施設利用収益	0	0	0	0	0	0
	訪問看護収益	0	0	0	0	0	0
	その他医業収益	34	0	0	0	0	34
	計	29,148	0	28,734	10,932	19,469	88,248
	保険等査定減	-13	0	0	0	0	-13
	計	29,135	0	28,734	10,932	19,469	88,270
医業費用		106,761	442	15,454	10,963	20,637	154,257
医業利益		-77,626	0	13,279	-31	-1,168	-65,988
本部配賦額		0	0	0	0	0	0
事業利益		-77,626	0	13,279	-31	-1,168	-65,988
医業 外 収益	受取利息配当金	0	442	1	0	0	0
	有価証券売却益	0	0	0	0	0	0
	患者外給食収益	0	442	0	0	0	0
	補助金・負担金	77,622	442	0	0	0	78,064
	その他の医業外収益	4	-442	4	0	0	8
	計	77,626	0	5	0	0	78,072
医業 外 費用	支払利息	0	0	0	0	0	0
	有価証券売却損	0	0	0	0	0	0
	患者外給食材料費	0	0	0	0	0	0
	診療費減免	0	0	0	0	0	0
	貸倒損失	0	0	0	0	0	0
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
	資産に係る控除対象外消費税等	0	0	0	0	0	0
	繰延消費税等償却	0	0	0	0	0	0
その他医業外費用	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0
経常利益		0	0	13,284	-31	-1,168	12,085
特別 利益	固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
	施設設備補助金等収入	0	0	0	0	0	0
	その他の特別利益	0	0	0	0	0	0
特別利益		0	0	0	0	0	0
特別 損失	固定資産廃棄売却損	0	0	0	0	0	0
	施設設備補助金等積立金繰入額	0	0	0	0	0	0
	有価証券評価損	0	0	0	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0	0	0	0
特別損失		0	0	0	0	0	0
税引前当期純利益		0	0	13,284	-31	-1,168	12,085
法人税・住民税及び事業税負担額		0	0	0	0	0	
税金等調整額		0	0	0	0	0	
当期純利益		0	0	13,284	-31	-1,168	12,085

		診療所	訪問看護	リハビリ 事業	地域リハ	施設管理	平成 26 年度 合計
給与費	給料	60,825	0	8,794	6,426	0	76,045
	賞与	7,981	0	494	1,080	0	9,555
	賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	630	0	203	94	0	927
	法定福利費	8,115	0	858	745	0	9,718
計	77,551	0	10,349	8,345	0	96,245	
材料費	医薬品費	19	0	0	0	0	19
	診療材料費	1,637	0	0	0	0	1,637
	医療消耗器具備品費	3,478	0	0	0	0	3,478
	給食用材料費	0	0	0	0	0	0
計	5,134	0	0	0	0	5,134	
委託費	検査委託費	0	0	0	0	0	0
	給食委託費	0	0	0	0	0	0
	寝具委託費	28	0	0	0	0	28
	医事委託費	0	0	0	0	0	0
	清掃委託費	0	0	0	0	7,106	7,106
	保守委託費	97	0	0	0	0	97
	その他委託費	1,137	82	38	35	12,745	14,037
計	1,262	82	38	35	19,851	21,268	
設備関係費	減価償却費	1,151	0	75	33	33	1,292
	機器賃借料	0	0	0	0	0	0
	地代家賃	5,789	0	0	0	0	5,789
	修繕費	56	0	67	18	0	141
	固定資産税等	8	0	3	0	0	11
	機器保守費	1,296	0	0	0	0	1,296
	機器設備保険料	0	0	0	0	0	0
	車両関係費	709	3	265	1	0	977
計	9,009	3	410	52	33	9,506	
研修費	研究費	0	0	0	0	0	0
	研修費	303	0	1	858	0	1,163
計	303	0	1	858	0	1,163	
経費	福利厚生費	1,323	0	5	1	0	1,328
	募集採用費	117	0	0	0	0	117
	旅費交通費	16	0	15	10	0	41
	職員被服費	1,501	12	212	168	0	1,893
	通信費	595	38	200	181	0	1,013
	広告宣伝費	3	0	0	402	0	405
	消耗品費	2,556	54	516	356	105	3,586
	消耗器具備品費	3,293	20	207	167	167	3,853
	図書費	326	4	0	0	0	330
	会議費	0	0	-26	46	0	20
	水道光熱費	2,158	243	0	0	0	2,401
	賃借料	86	0	0	0	0	86
	保険料	84	0	57	35	35	212
	交際費	9	0	-16	11	11	16
	諸会費	1,292	0	0	0	0	1,292
	租税公課	-24	-11	3,482	250	431	4,129
	貸倒損失	0	0	0	0	0	0
	貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0	0
	支払手数料	60	0	1	0	0	60
	寄付金	0	0	0	0	0	0
雑費	108	0	4	46	4	161	
計	13,502	360	4,657	1,673	753	20,942	
合計	106,761	442	15,455	10,963	20,637	154,257	

IV 中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告

目標1 バーセルインデックス（B I）

<p>平成26年度目標： バーセルインデックス（B I） 0点以上</p>
<p>平成26年度実績： 外来リハビリ： 1.42点          通所リハビリ： 0.83点          訪問リハビリ： 1.66点          （資料4 評価結果）</p>
<p><b>目標達成に対する活動状況について</b></p> <p>日常生活活動（ADL）の指標であるバーセルインデックス（B I）の維持または向上を目指し、以下の項目を実施した。</p> <p>①退院・退所直後から関わり、精神・認知・身体の各機能の維持・向上を図る。</p> <p>②自宅での生活状況を把握して、個別訓練の中で日常生活活動の自立度向上を可能な限り図る。</p> <p>③個別に具体的な目標と目標達成までの期間を設定し、計画的なりハビリを実施する。</p> <p>④チームで定期的な目標の見直しを実施する。</p> <p>⑤客観的なデータの蓄積を行い、各部門のリハビリ効果を明確化する。</p> <p>⑥回復期リハビリと綿密な連携を図り、継続性のあるリハビリを実施する。</p> <p>⑦他のサービス機関と綿密な連携を図り、包括的なリハビリを実施する。</p>
<p><b>平成26年度の実績に基づく今後の改善点について</b></p> <p>船橋市リハビリセンターを開設した平成26年7月からの実績であるため、対象者が外来リハビリ7例、通所リハビリ6例、訪問リハビリ3例であった。また、外来リハビリ・通所リハビリ・訪問リハビリ利用者16例へ、バーセルインデックス（B I）を実施した結果、全体での初回時の評価の平均は95.62点であった。6ヶ月後に同利用者へ実施したところ96.87点となり、1.25点が向上した結果となった。なお、部門別に見てみると、外来リハビリが1.42点、通所リハビリが0.83点、訪問リハビリが1.66点とADLに関しては全例で維持向上が見られた。改善がみられた項目は入浴と階段昇降であった。全般的に自立度が高い方が対象だったことから、難易度の高い項目での改善となった。</p> <p>このことから平成27年度も引き続き26年度と同様の活動を行う。</p>



## 目標2 ライフスペースアセスメント（L S A）

<p>平成26年度目標： ライフスペースアセスメント（L S A） 0点以上</p>
<p>平成26年度実績： 外来リハビリ： 3.79点          通所リハビリ： -3.75点          訪問リハビリ： 1.00点          （資料4 評価結果）</p>
<p><b>目標達成に対する活動状況について</b></p> <p>自宅における生活活動性指標（生活空間の広がり）であるライフスペースアセスメント（L S A）の維持向上を目指し、以下の項目を実施した。</p> <p>①自宅における生活活動の指導や閉じこもり防止などを図り、可能な限り活動的な生活をしていく支援をする。</p> <p>②個別に具体的な目標と目標達成までの期間を設定し、計画的なりハビリを実施する。</p> <p>③チームで定期的な目標の見直しを実施する。</p> <p>④客観的なデータの蓄積を行い、各部門のりハビリ効果を明確化する。</p> <p>⑤回復期りハビリと綿密な連携を図り、継続性のあるりハビリを実施する。</p> <p>⑥他のサービス機関と綿密な連携を図り、包括的なりハビリを実施する。</p>
<p><b>平成26年度の実績に基づく今後の改善点について</b></p> <p>船橋市リハビリセンターを開設した平成26年7月からの実績であるため、対象者が外来リハビリ7例、通所リハビリ6例、訪問リハビリ3例であった。また、外来リハビリ・通所リハビリ・訪問リハビリ利用者16例へL S Aを実施した結果、全体での初回時の評価の平均は35.1点であった。6ヶ月後に同利用者へ実施したところ35.5点となり、0.44点向上した結果となった。全体でのL S Aの評価は0.43点となった。なお、部門別に見てみると、外来リハビリが3.79点、通所リハビリが-3.75点、訪問リハビリが1.00点であり、全体を通し、L S Aは維持向上が見られた。外来L S Aは向上。外来通院の頻度分が外出機会が増え、点数の増加に繋がっていると考えられる。通所リハビリについては、生活範囲に変化はないが、外出機会の頻度が減少していた。これは、初回評価時（7～8月）と6ヶ月時（1～2月）の季節変動が点数の低下に繋がったと考えられる。通所利用者は送迎車によって通所を利用している。つまり、外出には他者の助けを必要としている。こういった方が、寒い時期に外出を控えていた。</p> <p>平成27年度は、年間を通して調査を行うことになるため、解消される見通しである。</p> <p>訪問リハビリにおいて1例悪化した例が見られたが、悪化例は「うつ・痛み」という精神面の課題が反映した可能性がある。今後も経過を追っていきたい。</p> <p>このことから平成27年度も引き続き26年度と同様の活動を行いながら経過を見守る。</p>

### 目標3 健康関連QOL（SF8）

平成26年度目標： 健康関連QOL（SF8） 0点以上
<p>平成26年度実績：外来リハビリ：身体的健康 4.1点 精神的健康 4.8点          通所リハビリ：身体的健康 -3.1点 精神的健康 4.8点          訪問リハビリ：身体的健康 0.7点 精神的健康 4.8点          （資料4 評価結果）</p>
<p>目標達成に対する活動状況について</p> <p>健康関連の生活の質（QOL）の指標としてSF8の維持向上を目指し、以下の項目を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①活動できる場所の検討を行い、社会参加や復職などへ向けた支援を実施する。</li> <li>②個別に具体的な目標と目標達成までの期間を設定し、計画的なリハビリを実施する。</li> <li>③チームで定期的な目標の見直しを実施する。</li> <li>④客観的なデータの蓄積を行い、各部門のリハビリ効果を明確化する。</li> <li>⑤回復期リハビリと綿密な連携を図り、継続性のあるリハビリを実施する。</li> <li>⑥他のサービス機関と綿密な連携を図り、包括的なリハビリを実施する。</li> </ul>
<p>平成26年度の実績に基づく今後の改善点について</p> <p>船橋市リハビリセンターを開設した平成26年7月からの実績であるため、対象者が外来リハビリ7例、通所リハビリ6例、訪問リハビリ3例であった。また、外来リハビリ・通所リハビリ・訪問リハビリ利用者16例へSF8を実施した結果、初回時の評価の平均は身体的健康が43.9点で、精神的健康は46.7点であった。6ヶ月後に同利用者へ実施したところ身体的健康が44.6点で、精神的健康は51.5点となり、身体的健康が0.7点、精神的健康が4.8点向上した結果となった。なお、全体での健康関連QOL（SF8）平均は向上した結果となった。</p> <p>このことから平成27年度も引き続き26年度と同様の活動を行い維持・向上を目指す。</p>

#### 目標4 家族の介護負担（Zarit介護負担尺度）

平成26年度目標： 家族の介護負担（Zarit介護負担尺度） 0点以下
平成26年度実績：外来リハビリ： -2.0点 通所リハビリ： 1.0点 訪問リハビリ： 5.0点 （資料4 評価結果）
<b>目標達成に対する活動状況について</b> 家族の介護負担に関する指標としてのZarit介護負担尺度の維持または向上を目指し、以下の項目を実施した。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介助方法の指導や環境調整のアドバイスを通じて家族・介護者の介護負担を極力軽減していく。</li> <li>② 個別に具体的な目標と目標達成までの期間を設定し、計画的なリハビリを実施する。</li> <li>③ チームで定期的な目標の見直しを実施する。</li> <li>④ 客観的なデータの蓄積を行い、各部門のリハビリ効果を明確化する。</li> <li>⑤ 回復期リハビリと綿密な連携を図り、継続性のあるリハビリを実施する。</li> <li>⑥ 他のサービス機関と綿密な連携を図り、包括的なリハビリを実施する。</li> </ol>
<b>平成26年度の実績に基づく今後の改善点について</b> 船橋市リハビリセンターを開設した平成26年7月からの実績であるため、対象者が少ないことは想定していたが、外来リハビリ・通所リハビリ・訪問リハビリの利用者家族へZarit介護負担尺度を実施した結果、有効事例は3例であった。他の調査（LSA及びSF8）が本人を対象としているのに対し、Zaritは家族を対象としている。調査内容について本人の前では答えにくい内容もあり、外来・通所では、家族が来院された際に、訪問では、家族が同席している時のみ直接評価依頼を行ったことから、症例数が少なくなってしまうと考えられる。また全体での初回時の評価の平均は6.7点であった。6ヶ月後に同利用者家族へ実施したところ8.0点となり、介護負担尺度は1.3点低下した結果となった。この内、介護負担の軽減が見られた例は1例で、悪化例として訪問リハビリでは「うつ・痛み」という利用者に対し、家族の負担が増加したことが原因と考えられるが、標本数が少なく介護負担感の軽減が図れたかを評価するには至らなかった。Zarit介護負担尺度については、個人情報側の側面から家族からの評価票回収率が減少すると想定できるため、平成27年度は、外来・通所・訪問実施時に、家族に対し声掛けするだけでなく、書面でも依頼することとし、回収率の増加を図る。

目標5 外来患者・通所リハビリ・訪問リハビリ患者または利用者満足度

平成26年度目標： 「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上  
「満足」の割合がいずれも60%以上

平成26年度実績： 外来リハビリ

・職員の対応について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 90.5 %

「満足」のみ割合 : 71.4 %

・リハビリテーションについて

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 90.0 %

「満足」のみ割合 : 50.0 %

(資料5 外来患者満足度調査結果)

通所リハビリ

・職員の対応について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 93.8 %

「満足」のみ割合 : 68.8 %

・リハビリテーションについて

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 90.6 %

「満足」のみ割合 : 65.6 %

(資料6 通所リハビリ患者満足度調査結果)

訪問リハビリ

・職員の対応について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 100.0 %

「満足」のみ割合 : 80.8 %

・リハビリテーションについて

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 100.0 %

「満足」のみ割合 : 84.6 %

(資料7 訪問リハビリ満足度調査結果)

目標達成に対する活動状況について

① 職員の対応に関する事項の満足度の向上

医療法人社団輝生会で作成されている接遇マニュアル（私たちの約束）を全職員へ配布した。新規採用の職員に対しては、接遇研修を実施し、スタッフの接遇レベルの向上を図った。また、職員に対して「人間の尊厳の保持」「主体性・自己決定権の尊重」などのセンターの基本理念と、「人権を尊重される権利」「自らの意思で選択・決定する権利」などの患者の権利を掲げたカードを配布し、常に身につけるように指導した。

② 全体会議や朝のミーティングを通じて、社会人や大人としての礼儀作法・身だしなみ、言葉遣い等の接遇に関する研修を行うなど意識付けを行った。

③ 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上

患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づき、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。また、個

個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示することや、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

④待ち時間に対する満足度の向上

外来リハビリ・通所リハビリに関する待ち時間については、時間予約制で極力待ち時間を抑えた。

⑤リハビリテーションの提供に当たっては、職員の技術向上研修等で満足度の向上を目指した。

⑥御意見箱の設置

満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

**平成26年度の実績に基づく今後の改善点について**

外来リハビリ・通所リハビリ・訪問リハビリの満足度調査においては、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上となり目標を達成した。しかしながら、「満足」の割合がいずれも60%以上に対する目標については、外来リハビリテーションのみ50%で目標は未達であった。平成27年度も引き続き26年度と同様の活動を行い、さらなる満足度の向上を図る。

## 目標6 リハビリ事業満足度について

平成26年度目標：	「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上 「満足」の割合がいずれも60%以上
平成26年度実績：	<p>「満足」と「やや満足」を足した割合 93.2% 「満足」の割合 65.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の対応について 「満足」と「やや満足」を足した割合 : 100.0 % 「満足」のみ割合 : 83.0 %</li> <li>・パワーリハビリについて 「満足」と「やや満足」を足した割合 : 90.7 % 「満足」のみ割合 : 45.3 %</li> <li>・プールリハビリについて 「満足」と「やや満足」を足した割合 : 88.9 % 「満足」のみ割合 : 66.7 %</li> </ul> <p>(資料8 リハビリ事業満足度調査結果)</p>
<p><b>目標達成に対する活動状況について</b></p> <p>①職員の対応に関する事項の満足度の向上</p> <p>②患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上 職員の対応については目標5「外来患者・通所リハビリ・訪問リハビリ患者または利用者満足度」の活動状況に記載したとおり接遇研修を実施し、スタッフの接遇レベル向上を図った。 また、患者・利用者のプライバシーへの配慮についても、上記目標5と同様な対応をとり満足度の向上を図った。</p> <p>③待ち時間に対する満足度の向上 利用者が増加したことにより、訓練機器の待ち時間が発生した。</p> <p>④御意見箱の設置 満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。</p>	
<p><b>平成26年度の実績に基づく今後の改善点について</b></p> <p>リハビリ事業の満足度調査においては、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上となり目標を達成した。「満足」の割合がいずれも60%以上に対する目標については、パワーリハビリで45.3%という結果で目標は未達であった。これはパワーリハビリの利用者増加により訓練機器の待ち時間が増加したことによる影響と考えられる。</p> <p>平成27年度は待ち時間を解消するため、順番待ちの利用者への誘導や一日の利用者数について再考などの対策を取り、さらなる満足度の向上を図る。</p>	

## 目標7 財務内容の改善に関する事項

平成26年度目標： 診療所経常収支比率 20%以上

平成26年度実績： 診療所経常収支比率 27.3%

※各部門の指定管理料を除いた収入の合計を各部門の支出で合計で除して100を乗じて算出した割合で算出。

### 目標達成に対する活動状況について

#### ①増患対策

- ・ 外来リハビリ患者の増加を目指し、回復期病棟を持つ近隣医療機関との情報交換を行った。また、同一医療法人である船橋市立リハビリテーション病院を退院し外来リハビリへ移行する対象者のフローを作成し、リハビリテーションのシームレスな連携を図った。
- ・ 通所リハビリ、訪問リハビリ利用者の増加を目指し、サービスエリア内の居宅介護支援事業所へ出向き情報交換を実施した。
- ・ 介護報酬改定に伴い、介護支援専門員に対して改定についての説明会を開催し、改定後の通所リハビリの利用について理解を深めた。
- ・ 実際に行うリハビリの単位実績を把握する他、利用の増加を予測した予測推計を更新することで、リハビリテーションサービスの供給量の適正に努めた。

#### ②費用の削減

- ・ 患者・利用者の増加時にスムーズな人員配置が出来るよう、法人本部に設置する教育研修局を通じ、船橋市リハビリセンター以外の拠点からの人事異動を可能にし、無駄のない配置に努めた。

### 平成26年度の実績に基づく今後の改善点について

船橋市リハビリセンターが開設した初年度の実績としては、開始月と期末との比較としては、通院サービスである外来リハビリ・通所リハビリの実績は、149件/月から653件/月（504件増加）、訪問リハビリの実績は22件/月から212件/月（190件増加）であり、診療所の稼働状況は着実の増加した。医業収益は29,135千円（計画比－673千円）、医業費用は106,761千円（計画比－3,683千円）。経常収支は－77,626千円（計画比3,010千円）であり、平成26年度 診療所経常収支比率においても27.3%と目標を達成した。

平成27年度においては介護報酬の改定に伴い、さらに通所リハビリの増患を図り、経常収支比率60%以上を目標とする。

## 目標8 地域リハビリテーション拠点事業

平成26年度目標： 中期行動計画 地域リハビリテーション拠点事業に定める  
目標

平成26年度実績： 目標に対し全て達成した

目標達成に対する活動状況について

- |  |       |
|--|-------|
| ①リハビリセンターパンフレット作成  | 1回/年  |
| ②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布                                     | 2回/年  |
| ③リハビリセンター刊行物の作成、配布   | 4回/年  |
| ④ホームページに最新情報を掲載  | 2回/年  |
| ⑤市民向け講演会開催   | 2回/年  |
| ⑥リハビリ関係者向け講演会開催  | 2回/年  |
| ⑦リハビリ関係者向け研修会開催  | 16回/年 |
| ⑧維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告                                 |       |
| ⑨船橋市地域リハビリテーション協議会、船橋市地域リハ研究会等の<br>メンバーと積極的に連携を行う          |       |
| ⑩リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行う<br>(資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績) |       |

平成26年度の実績に基づく今後の改善点について

平成27年度も継続し、以下の項目を実施する。

- |   |      |
|---|------|
| ①リハビリセンターパンフレットの更新                                | 1回/年 |
| ②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布                            | 2回/年 |
| ③リハビリセンター刊行物の作成、配布                                | 4回/年 |
| ④ホームページに最新情報を掲載                                   | 2回/年 |
| ⑤市民向け講演会開催  | 2回/年 |
| ⑥リハビリ関係者向け講演会開催                                   | 2回/年 |
| ⑦リハビリ関係者向け研修会開催                                   | 3回/年 |
| ⑧維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告                        |      |
| ⑨船橋市地域リハビリテーション協議会、船橋市地域リハ研究会等の<br>メンバーと積極的に連携を行う |      |
| ⑩リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行う                   |      |